

くじら

令和3年5月臨時会
令和3年6月定例会



議会だより No.61

ケーブルテレビでは、議会の生放送・再放送に加え、議会の紹介コーナーもあります。



梅雨の晴れ間に開催された運動会 (令和3年5月 田ノ口小学校)

1P 令和3年度 一般会計補正予算 3533万円を増額

5P 出口地区に避難集会所・屯所完成

6P 子育て世帯生活支援特別給付金支給

8P **町政を問う！ 9議員が一般質問**

18P 紹介します！ 黒潮駐在所、入野消防屯所

裏表紙 学校めぐり 三浦小学校

実施中です

令和3年6月定例会

6月4日～11日開催

一般会計補正予算など9議案が提出され、全議案可決・承認



●令和3年度 一般会計補正予算
3533万円増額

総額109億6500万円に

コロナ支援を追加

■子育て世帯生活支援特別給付金 2165万円 ■黒潮町月次支援金 314万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子育て世帯(ひとり親世帯以外)に対し支給するもので、事務費も含まれる。

支給対象者は、児童扶

養手当受給者、住民税非

課税世帯など。

児童1人当たり、一律5万円で250人を想定。なお、ひとり親世帯で低所得の方には県から直接支給がある。

国は、4～6月の3カ

月間を対象とし、町はそ

のうちの1カ月分を上乗せするもの。

支給額は、法人月額20万円、個人10万円。法人

5業者、個人20事業者を見込んでいる。

※3Pにつづく

ワクチン接種



○ワクチン接種の
お知らせ
(集団接種)

- ・65歳以上の方
5月9日から始まり、7月31日終了予定です。
70%超が7月中に接種する見込みです。
- ・64歳～16歳までの方
8月から11月までに接種の予定です。
接種券は7月1日に発送済みです。

- ・15歳～12歳までの方
案内を7月9日に発送済みです。

★65歳以上の方で接種出来なかつた方は、8月より町内の医療機関で個別接種を開始します。
左記の電話で予約して下さい。

ワクチン専用ダイヤル
0880-43-2138

■ 防災拠点建築物耐震事業補助金 470万円
防災拠点として協力を得ている「介護医療院ことぶき」（出口地区）の耐震補強を行うもので、屋根の改修費の増額分。



■ I-C-T支援員配置委託料 344万円
遠隔支援、タブレットなどのパソコン機器を管理する経費。

■ 学校管理費の備品購入費 128万円
や原因究明等を業務として委託予定。



パーテーション設置予定の空き教室（大方中学校）

条例の一部改正

物品売買契約の締結

出口に避難集会所完成

上川口分団に消防ポンプ自動車

- ・契約の方法
- ・指名競争入札
- ・契約金額
- ・契約の相手方

得ている「介護医療院ことぶき」（出口地区）の耐震補強を行うもので、屋根の改修費の増額分。

Q 矢野昭三議員
I-C-T支援員配置委託の内容は。

登校の児童生徒への個別指導をする際のパーテーションを購入するもの。

●町立避難集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正

昨年3月に出口地区の高台に防災活動の拠点、地域住民の交流の場としての集会施設が完成した。新設された集会施設を

では購入後22年経過時に更新となつており、今年度が22年目にあたり、購入するもの。

株式会社クロイワ
代表取締役 黒岩 俊二
8番42号

A 藤本教育次長
児童生徒、教職員が使用する合計704台のタブレット端末の管理を行うもの。故障やトラブルの際、業者とのやり取り

Q 宮地葉子議員
どの学校に設置するか決まっているか。

A 藤本教育次長
大方中学校となつている。

「出口避難集会所」と位置付けるもの。

令和3年度黒潮町消防ポンプ自動車購入契約の目的

可決（全員）
高知市葛島4丁目
2999万円

**マイナンバー発行元の変更による条例の一
部改正**

**●手数料徴収条例の一
部改正**

マイナンバー法の一部改正により、発行は地方公共団体システム機構が多い、手数料を徴収するものと明確化されたため個人番号の項目が削除されたもの。

可決（全員）



購入予定と同型の消防ポンプ車

請負契約の締結

Q 中島一郎議員
7040万円の工事費
の内訳を問う。

入野地区に耐震性貯水槽設置

- 入野地区耐震性貯水槽設置工事の請負契約の締結
- ・ 契約の目的
入野地区耐震性貯水槽
- ・ 契約の方法
指名競争入札
- ・ 契約金額
7040万円
- ・ 工期
令和3年6月14日～
令和3年12月13日
- ・ 契約の相手方
四万十市古津賀
- ・ 株式会社 中村住設
代表取締役 浜村敦
- ・ 可決(全員)



耐震性貯水槽が設置される城山団地

A 森田建設課長
40トンの貯水槽が約6
200万円、隣に設置す
る防災倉庫が約280万
円。周囲を囲むフェンス
と、本管からの流入管、
流出管で約560万円と
なっている。



貯水槽の完成イメージ

令和3年9月30日を
もって任期満了となる、
奥本まり氏を、再度推薦
するもの。

黒潮町入野

5196番地24

奥本まり
昭和30年生まれ

令和3年9月30日を
もって松田和年氏が任期
満了となる。後任として
津野早苗氏を、新たに推
薦するもの。

黒潮町上川口

1233番地39

津野早苗
昭和40年生まれ

令和3年10月1日～
令和6年9月30日

賛成(全員)

人権擁護委員の推薦



特別展示「Liberty」(役場本庁内くろしおホール)

委員会のうごしき

総務
教育

常任委員会

出口地区に避難集会所・屯所が



委員長 宮川 徳光
みやがわ のりみつ



高台に新築した出口避難集会所・屯所（上と右…赤屋根）

今回、本委員会に付託された2議案は、審査の結果、全会一致で可決すべきものとなつた。

●町立避難集会所の設置及び管理条例の一部改正

今年3月、出口地区に避難集会所として建築した建物を条例に加えるもの。これにより避難集会所は、田野浦避難集会所

浮津避難集会所と合わせて3カ所となる。

委員から、土地の海拔高、また、建築費用への地区分担金や普段の運営費用や火災保険の加入などへの質疑があり、執行部から、海拔高は約22mで浸水区域外。また、集

会所建築関連の地区分担金は、規定により建築費用の内3千万円までは10%、3千万円を超える部分は25%の負担となつている。

これにより今回、消防屯所関連を除く集会所関連費用3700万円程の分担金として地区から486万円を納めて頂いた。

集会所関連の運営費用や火災保険への加入は、従来の集会所の考え方と同じで地区の負担となつて

いる。

●令和3年度一般会計補正予算 学習用端末などの管理を委託

■ICT支援員配置委託

344万千円

小学校・中学校の児童・

生徒564名と教員14名の計704名のタブレット端末の管理とユーティリティの管理を行うもの。

委員から、タブレット導入の目的と、トラブル

発生時の対応はとの質疑があり、執行部から「個別最適な学び」を掲げて、

トラブル発生時の対応は遠隔操作で操作履歴を調べることにより、トラブルの原因を探ることと

している。この際、グループ分けをしていることで原因の特定がやり易くなつているとのこと。



タブレット端末を使っての授業中の一コマ
(令和3年6月下旬、南郷小学校にて)

産業
建設
厚生

常任委員会

子育て世帯生活支援特別給付金

徴収が明確化されたこと
から改正するもの。



副委員長 中島 一郎
なかじま いちろう

●手数料徴収条例の一部改正

行政における特定の個人を識別するため、番号の利用等に関する法律（通称マイナンバー法）が、令和3年5月19日、法律第37号として公布された。この改正により、マイナンバーカードの発行は、地方公共団体情報システム機構が行い、手数料の

今回、本委員会に付託された2議案は、審査の結果、全て原案のとおり全会一致で可決すべきものとなつた。



●令和3年度一般会計補正予算
■子育て世帯生活支援特別給付金
1250万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、住民税非課税などの低所得者の子育て世帯（ひとり親世帯以外）に對し、児童1人当たり一律5万円を支給する。
対象児童数250名を見込み、全給付額と必要な事務的経費は国庫補助金が充当される。



佐賀保育所の元気な子どもたち



令和3年5月10日

5月臨時会



昨年10月のTシャツアート展

全議案 可決(全員)

者の処分をするもの。
町長並びに教育長が給料月額の100分の10、副町長が給料月額の100分の5に相当する額を減額。

期間は、令和3年6月1日から1ヶ月間。

条例の制定と一部改正

●予防接種健康被害調査委員会条例の制定

新型コロナワクチン接種を受け、健康被害が出た場合、その接種が原因であるかどうかの調査を実施するための委員会を設置するもの。

●予防接種健康被害調査委員会条例の制定
が救済給付をすることとなつてている。

●国民健康保険税条例の一部改正

野並誠路
昭和30年生まれ
黒潮町田野浦
980番地1

黒潮町入野
2638番地1
千谷和人
昭和34年生まれ
黒潮町入野
2638番地1

共に任期は、
令和3年5月16日～
令和6年5月15日
賛成(全員)

令和3年5月15日をもつて矢野巧委員が任期満了となるため、新たに前田唯義氏を選任するもの。

黒潮町佐賀
昭和23年生まれ
前田唯義
876番地1

令和3年5月15日をもつて任期満了となる野並誠路氏を再度選任するもの。

令和3年5月15日をもつて、森博秀委員が任期満了となるため新たに千谷和人氏を選任するもの。

黒潮町佐賀
昭和23年生まれ
前田唯義
876番地1

種を受け、健康被害が出た場合、その接種が原因であるかどうかの調査を実施するための委員会を設置するもの。

●町長等の給料の特例に関する条例の制定
職員の飲酒運転による自損事故、教育委員会の会計年度任用職員が酒気帯び運転の道路交通法違反で取り調べを受けたこと等から、管理監督責任

染症の影響による収入の減少が見込まれる場合等の減免対象期間を令和3年度末まで1年間延長するもの。

●介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少が見込まれる場合等において、令和3年度に納付予定の介護保険料を減免対象とするもの。



佐賀の鹿島

固定資産評価委員会の委員の選任

令和3年5月15日をもつて矢野巧委員が任期満了となるため、新たに前田唯義氏を選任するもの。

2021.8.1 議会だより くじふ ⑦

一般質問

町政を問う!!

9議員が質問・提案を

支所機能

佐賀支所の移転 見解は

今後の課題だ



山本 久夫 議員

先や利便性等を考慮する
と候補地の選定も困難な
状況と考える。

そうした状況下、大震
災からある程度の時間が
経過した現在、佐賀支所
の役割や機能維持につい
て移転も含め対応拠点の
再検討も必要だと考える。

役場機能の維持は、発

災後の大震災から10
年が過ぎ、黒潮町におい
てはハード・ソフト事業
が進められ、一定の対応
と対策が完了した状況で
はないかと考える。

現在、発災後は、佐賀
支所の支所機能を拳ノ川
総合保健センターに移転
して、復旧・復興の対応
拠点とすることになつて
いる。

本来なら、佐賀支所は
安全な高台に移転し、周
辺に一定の宅地を造成す
ることが理想だが、移転
拠点とすることになつて
いる。

東日本大震災から10
年が過ぎ、黒潮町におい
てはハード・ソフト事業
が進められ、一定の対応
と対策が完了した状況で
はないかと考える。

現在、発災後は、佐賀
支所の支所機能を拳ノ川
総合保健センターに移転
して、復旧・復興の対応
拠点とすることが見解を問
う。

答 松本町長

佐賀支所の移転につい
ては、施設の移転と災害

風水害等の一般的な災
害時は、佐賀支所が災害

に通常の業務に移行する
ものとなつていて。

財政的な総合判断が必要
で、現在、耐震工事も完
了し、当面は近隣の避難
場所の整備を講じること

で対応している。

被災した場合は、津波浸
水想定区域外の拳ノ川総
合保健センターが災害対

策佐賀支部になり公共機
能が移転される。

町の業務継続計画では
発災後、想定される参集
可能な職員は約60%の34
人が6時間以内に参集可

能と計画している。

町の業務継続計画では
発災後、想定される参集
可能な職員は約60%の34
人が6時間以内に参集可

能と計画している。

被災を想定した事前復
興も検討しながら計画の
内容を高めていく必要が
あり、引き続き検討する。

当然、今の計画がベス
トとは思っていない。

被災を想定した事前復
興も検討しながら計画の
内容を高めていく必要が
あり、引き続き検討する。

この計画は1ヶ月の計
画であり、その後は徐々
に通常の業務に移行する
ものとなつていて。

長期間にわたり、拳ノ
川総合保健センターが佐
賀支所の役割を果たすと
いうのは少し無理がある
と考えている。

この計画は1ヶ月の計
画であり、その後は徐々
に通常の業務に移行する
ものとなつていて。

東日本大震災から10
年が過ぎ、黒潮町におい
てはハード・ソフト事業
が進められ、一定の対応
と対策が完了した状況で
はないかと考える。

現在、発災後は、佐賀
支所の支所機能を拳ノ川
総合保健センターに移転
して、復旧・復興の対応
拠点とすることが見解を問
う。

本来なら、佐賀支所は
安全な高台に移転し、周
辺に一定の宅地を造成す
ることが理想だが、移転
拠点とすることになつて
いる。

今後、公共施設等整備
計画と財政シミュレー
ション等を検討する中で、
考えていかなければなら
ない課題だと考える。

上は支所被災時に対応拠
点となる拳ノ川総合保健
センター。右は佐賀支所。





よし お まさ き
吉尾 昌樹 議員

【問】 今年3月の答弁で、「昨年10月、ネット速度を増速し、帯域不足が一定程度解消されたと考えている」とのことだったが、その後のネット環境や、速度などの改善はどうなっているのか。今年に入つて、曜日や時間帯などにより、インターネットの需要が増大し、加入者も増加している。

【答】 徳廣情報防災課長 令和2年10月よりインターネット速度の大幅な増速に着手し、増速後は、これまでの1・5倍の帯域を確保しており、帯域不足が一定程度解消されたものと考へている。が

【問】 今年3月の答弁で、「昨年10月、ネット速度を増速し、帯域不足が一定程度解消されたと考えている」とのことだったが、その後のネット環境や、速度などの改善はどうなっているのか。今年に入つて、曜日や時間帯などにより、インターネットの需要が増大し、加入者も増加している。

【答】 徳廣情報防災課長 令和2年10月よりインターネット速度の大幅な増速に着手し、増速後は、これまでの1・5倍の帯域を確保しており、帯域不足が一定程度解消されたものと考へている。が

【問】 三浦小学校は、出口、田野浦地区の合同避難所になつてゐるが、町道から正面入口の上り坂になつてゐる進入路が狭く、避難時や避難後の災害物資の運搬時などにも、車のすれ違いなどが出来ず、支障をきたす恐れもある。いつ来るか分らない災害のためにも早急な改善をすべきでは。

【答】 徳廣情報防災課長 学校進入路は、現在も使用されており、避難所への通行においても問題なつてゐる进入路が狭く、街路灯については、裏側には避難所誘導看板と、ソーラー充電式の照明があり、平時・災害時とも照度に問題ない。正面側の進入路の照明は町道付近に外灯があるが、照度が十分な状況となつていな

【問】 小学校への上り坂の外灯と裏側の避難道、両方の避難灯の状況は。

【答】 徳廣情報防災課長 高台移転後、持ち家が前住屋と移転後の住屋2軒になつたとき、どちらかの固定資産税が減免出来ないか。



三浦小学校正門登り口

情報通信事業

更なる通信速度アップはさまざまな選択肢を検討

どにより、また、ネット速度が遅くなつたようだと思うが、現在の状況は。

また、今後、ネットの利用者は益々増えると思うが、更なるネット速度のアップや、他のネット業者の参入などの考えは。

システムのアップデート、人気ゲームの発売などで、住民サービス向上を第一とする観点により、公

下する日も発生しており、データの大量化、高速化に対応が困難な状況も考えて検討を進める。

えられる。

高台移転後、持ち家が前住屋と移転後の住屋2軒になつたとき、どちらかの固定資産税が減免出来ないか。

固定資産税は地方公共団体に納める地方税となつてゐる。

そのため、2軒の土地、建物を所有している状態で、現行の税法、また、町の税条例において、軽減処置や免除の規定はないため、减免は出来ない。

宮川住民課長

固定資産税は地方公共

防災対策

進入路の拡幅等の改善を各課連携し協議・検討

【問】 三浦小学校は、出口、田野浦地区の合同避難所になつてゐるが、町道から正面入口の上り坂になつてゐる进入路が狭く、避難時や避難後の災害物資の運搬時などにも、車のすれ違いなどが出来ず、支障をきたす恐れもある。いつ来るか分らない災害のためにも早急な改善をすべきでは。

【答】 徳廣情報防災課長 学校進入路は、現在も使用されており、避難所への通行においても問題なつてゐる进入路が狭く、街路灯については、裏

側には避難所誘導看板と、ソーラー充電式の照明があり、平時・災害時とも照度に問題ない。正面側の進入路の照明は町道付近に外灯があるが、照度が十分な状況となつていな

減税対策

移転後の固定資産税の軽減

規定なく出来ない

宮川住民課長

固定資産税は地方公共



矢野 昭三 議員

場所を遺跡・平和公園として位置付けをするか。

戦没者追悼等

広報での案内掲載位置は

参加しやすいお知らせに

問 今年の追悼式は中学生が思いを述べて頂き感謝している。

広報での案内等は表紙、または1頁へ登載すべきではないか。

また、顕彰石碑等整備をいかに取り組むか。

更に、顕彰石碑等設置



戦没者顕彰施設
(中の川地区)

答 松本町長

案内は、皆様に分りやすく、参加しやすいお知らせとなるよう配置等も含めて検討する。

石碑等の整備は、遺族会を中心に協議し取り組みを検討する。また、遺跡・公園化については、遺族会の意向整理が出来ていない。年内早いうちには、遺族会と協議をしたい。

問 全国最高の津波高を突き付けられている住民の不安な状況は、十分察している。しかし高台移転を含めた事前復興の状況は想像も出来ないほど大きな事業となる。

今までに出来ると言ふ事は出来ないが、全力を尽くして住民と色々な知恵を出し合い、出来るだけ早く進めたい。

問 総合戦略の基本目標3の若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶えるため、保護者等の意見を聞き集約し、策定しているか。

答 若い世代の意見集約を
現状を把握し
計画に反映

答 西村企画調整室長
取り組みの方向性や施策の検討にあたり、現状を確認、把握する必要がある。このため、保護者の方々をはじめ関係者のご意見を参考にし、既存事業の見直しや新規事業の構築に向け協議し、事業計画等に反映させてい

ます。この他の質問

- ・コロナワクチン等につ

事前復興計画

佐賀でも高台造成を

全力を尽くす

問 佐賀地域の区長12人から要望があつた「今度は、佐賀の番じやないで

しまうか。佐賀でも高台造成を」について、地震・津波の襲来に時間との競争となるため、東公園の運動場を嵩上げし、避難場所等に活用してはどうか。



東公園運動場

佐賀発電所

町の評価は

生活・産業に
好影響

問 発電所の存在による合併以来の収税をはじめ生活、水道、産業用水等の評価、並びに感謝の意の表明や交流を問う。

答 青木地域住民課長
発電所の固定資産税は毎年約38万5千円。償却資産は除外している。

答 西村企画調整室長
取り組みの方向性や施

策の検討にあたり、現状を確認、把握する必要がある。このため、保護者の方々をはじめ関係者のご意見を参考にし、既存事業の見直しや新規事業の構築に向け協議し、事業計画等に反映させてい

ます。この他の質問

- ・コロナワクチン等につ



佐賀発電所(市野々川地区)

宅地造成

入野・佐賀地区の計画は

事前復興計画の推進を



中島 一郎 議員

答

金子 まちづくり課長

住宅地の高台移転に関するアンケート調査は、平成25、26年に町全体を対象にしたものと、平成26年に出入口地区で実施したものがある。

それ以降は実施されていないが、平成25、26年の調査では、高台移転への希望者は、入野地域は448名の回答のうち40%、佐賀地域は251名の回答のうち53%などとし、完成までに10年はかかると言われているが、このための町全体のアンケート調査等による現状把握は。

問 入野地区の宅地造成は、高規格道路・佐賀大方面道路の発生土を利用する計画となっている。住宅用地は300戸ほどとし、完成までに10年はかかると言われているが、このための町全体のアンケート調査等による現状把握は。

また、単に災害対応の観点だけではなく、将来の町の発展を目指すためにも幅広く意見や要望を聞く住民参加の組織づくりは出来ないか。

問 入野地区の宅地造成は、高規格道路・佐賀大方面道路の発生土を利用する計画となっている。住宅用地は300戸ほどとし、完成までに10年はかかると言われているが、このための町全体のアンケート調査等による現状把握は。

また、単に災害対応の観点だけではなく、将来の町の発展を目指すためにも幅広く意見や要望を聞く住民参加の組織づくりは出来ないか。

問 大規模な災害発生を想定した場合、大方地区同様に佐賀地区にも安全安心な宅地造成は当然必要となってくる。

今年4月13日に佐賀地区長12名から要望書の提出がされたが、今後の取り組みは。

答 松本町長

安全な住宅地の形成等について、国・県と協議し検討を進めている。

提出がされたが、今後の取り組みは。安全な住宅地の形成等について、国・県と協議し検討を進めている。

避難タワー一階段流出への対策は適した装備検討する

問 佐賀地区津波避難タワーは、津波や漂流物の影響で階段などが流出した場合を想定し、3月に垂直式救助袋が設置されたが、その他の津波避難タワーについても装備が必要ではないか。

また出口地区の調査では、74世帯中51%が高台移転の希望がある。

問 德廣情報防災課長

浜の宮津波避難タワーを除く4基でも付帯構造物の流失等で地上に降りられない可能性がある。



垂直式救助袋が設置された佐賀地区避難タワー

児童福祉デイサービスの支援は保護者会等と協議で

障害児通所支援事業の放課後等デイサービスに、学校の授業終了後や休業日に生活能力向上に必要な訓練などを受けるために、町外事業所へ数名の児童と家族が通している。

この支援事業所を町内に開所出来ないか。

答 佐田 健康福祉課長

放課後等デイサービスについて、支給決定を行っている児童は5月現在で11名となっている。事業所数に限りがあり町内の利用者は遠方まで通っている現状がある。

町内では福祉人材や事業経営に課題があり、町としても障害児保護者会・交流会と協議のうえ、必要な支援をしていく。

AED設置の協議・管理は



はまむら みか 濱村 美香 議員

学校施設に15台増設計画

問 現在設置しているAEDの維持管理は。

答 徳廣 情報防災課長
情報防災課では、24台設置しており、規定のサイクルに応じて維持管理（バッテリーやバット等の交換）を行っている。



AEDの設置の様子(南郷小学校職員室)

答 藤本 教育次長
関係事業所との協議は行っていないが、町民会議直後の執行機関会議において、AEDを使用し

答 藤本 教育次長
各学校は保護者や地域住民と共に、夏休み中に通学路の点検をした結果報告書を教育委員会に提出している。

問 昨年の黒潮町民会議では、救命措置が行われず、子どもを亡くした方の講演があり、緊急時の対応やAED使用の重要性を訴えられていた。
その後、教育委員会は、情報防災課や住民課、関連事業所や消防署等と協議を行つたか。

答 藤本 教育次長
事業の一つに、「通学路安全対策連絡協議会」の開催があるが、その役割や対応は。

また、令和元年度に上がってきた47件の課題は、何件改善できたか。

各機関は報告書を持ち、開催され、報告書をもとに協議、時には現場確認も実施している。

また、改善件数は交通安全関係29件中4件、防犯関係18件中7件の計11件となつていて。

た救命講習実施を各課で進める、各課で所有するAEDについて分かりやすい表示、すぐに取り出せる場所に置き換える等を協議した。

また、教育委員会では、今年度当初予算に15台の増設を計上している。

答 藤本 教育次長
各学校のAEDについては、情報防災課と情報共有の上、教育委員会が一括管理している。

通学路の安全

協議会に出た課題の改善は 関係者と協議し対応



危険な通学路を自主的に除草してくれている保護者(町道土橋線)



みや がわ のりみつ
宮川 徳光 議員

問 前年度、今年度にかけて全国の教育現場にてGIGA(※1)スクール構想による高速大容量通信ネットワークのインフラ整備がされた。当町の整備状況、また、今後の課題と対策を問う。

学校教育

GIGAスクールの課題は

端末のより効果的な活用を

答

畦地 教育長

文部科学省では、現代を生きる全ての子どもたちの可能性を引き出す、

の下での、新しい学びがスタートした。

本町も、小学校の児童

和2年度に総事業費4686万円で整備した。

また、

今後の一一番の課

題は、端末を学びのための道具として、いかに効果的な活用が出来るかだ。

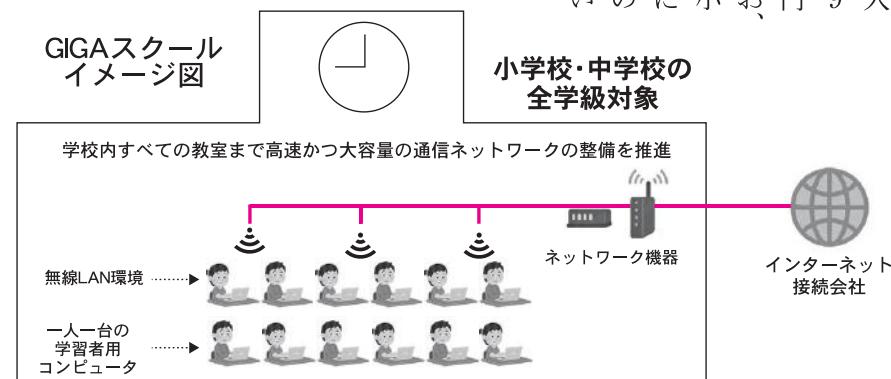
なお、各校の情報通信ネットワーク環境は、令和2年度に総事業費4686万円で整備した。

現在、端末を安全・安心に持ち帰りが出来る環境づくりを行つていて、また、情報モラルや教育内容などがある。

その他、端末の持ち帰り学習への対応があり、GIGAスクール構想の真の目的の「個別最適な学び、協働的な学び」につながる効果的な活用方法を追求していかなければならぬ。

※1: GIGAスクールとは、
G l o b a l : 世界的な(a n d)
I n n o v a t i o n : 革新
G a t e w a y : 異なるコンピュータ間を接続する
A l l : (f o r) 全ての人
の頭文字で、ICT(※2)を活用し、新しい教育へシフトしていくもの。

※2: ICTとは、
I n f o r m a t i o n : 情報(a n d)
C o m m u n i c a t i o n : 通信
T e c h n o l o g y : 技術
の頭文字で、「情報通信技術」の略。



ジェンダー平等 具体策は

パートナーシップ制度実施

みやじ ようこ
宮地 葉子 議員

問 第二次男女共同参画計画が完成したが、具体的にはどんなことを実施していくか。

答 土居 総務課長

住民の実態や施設での状況に応じて配備を検討したい。

答 青木 地域住民課長
町でパートナーシップ制度を導入する。今、令和4年度4月からスター

トするためには準備をしていく。

また、町民大学でもジエンダー平等について講演を計画している。
安心して使用できる。

保健室で貸してくれる

生理用品は、無償でいつでも支給出来るように、学校現場に通知して欲しい。

答 畠地 教育長
学校のトイレに生理用品を常設することの結論は出てないが、教育的な配慮として最適かどうか、学校現場の考えを聞きながら対処していきたい。

保健康室での無償配布は現場に徹底させていく。

施設管理

体育館トイレの改修を伊田は早急に修理



旧伊田小学校体育館

答 藤本 教育次長

旧伊田小学校の体育館

のトイレは1基が故障中。もう1基は流水のボタン

式だが、1基は簡易の腰掛用便器が乗せてある

が水は出ない。もう1基

は穴が大きく子供には危

険性がある。改修をする

計画はない。

検討したい。

上川口小学校の体育館のトイレは、現時点でのトイレは、現時点での状況なので、早急に修理したい。洋式トイレへの変更は予算もかかるのでも含めて検討したい。

上川口小学校の体育館

のトイレは、現時点での状況なので、早急に修理したい。洋式トイレへの変更は予算もかかるのでも含めて検討したい。

高台移転 補助金有効では

制度設計の段階に課題あり

あさの しゅういち 議員
浅野 修一 議員

本事業において町産材が積極的に使用されることにより、木材の需要拡大と林業の持続的な発展や地域の活性化を促進します。また、町内での木の住まいづくりの推進に結び付くのではないかと考える。

しかし、制度設計の段階において何点かの課題があり、更なる検討を行っていく。

入野地区の高台造成事業
候補地（赤枠付近）

問 町は3月議会において、入野地区宅地造成事業計画を表明し、予算計上もした。高台移転の早期達成には町産材を使用する場合の補助金制度が有効だ。町の考えは。

答 今西 海洋 森林課長

将来的に入野地区で予定される宅地造成事業計画など、大規模な工事の時期に合わせてのこういった補助金制度実施のタイミングは非常に有効だと考える。

問 2060年、人口6800人を目指とする当

町には、自然を大切にする施策が不可欠と考える。

答 松本 町長

山林保護により、黒潮流を後世に残すための施策を問う。

答 今西 海洋 森林課長

様々な検討課題もあるが、人工林を中心に造林事業を推進し、関係機関

森林環境保護
山に対する町長の見解は
しっかりととした林業政策を

問 山に対する思いや、町有林の今後の見通しなど、町長の見解は。

答 松本 町長

町の政策はまだまだ十分に検討されてないと認識している。

無電柱化によりスッキリとした町並み。
防災面からも安心度アップ（梼原町）50m四方の区域での群状間伐。
伐採後、数十本の広葉樹の植栽を行なう
(日本熊森協会の取り組み、高知県石立山にて)

無電柱化計画

国、県と連携 具体的な計画はどう進める

問 国の無電柱化新計画について、町としてどう考え、どう進めるのか。

答 金子 まちづくり課長

現在、整備中も含め整備している自治体は、高知市、梼原町、宿毛市と聞く。具体的な計画はまだが国、県とも連携し、情報の共有を図っていく。

答 松本 町長

津波高34mの町だから非常に有利な補助金があるという制度ではなく、費用は整備主体の町負担だ。ただ、国道は国に働き掛け、町は町の計画を進めていく。

答 徳廣 情報防災課長

国の制度は始まつたばかりだが、無電柱化は、災害時においてものすごく大きなものだと思う。今後の推移も見守りながら考えていきたい。

防災対策

優先箇所と実行計画は

8 河川の河床掘削を予定



やま さき まさ お
山崎 正男 議員

問 行政は地域住民の要望を踏まえ、どのような方策を考えているか。
また、認識している優先すべき防災箇所と今後の実行計画を伺う。

答 森田建設課長 県は昨年度、蛎瀬川や伊与木川など10河川に事業費約2億4600万円を計上し、掘削土量3万7500m³を撤去している。

本年度は、伊与木川他8河川の河床掘削を予定している。

問 徳廣情報防災課長 今年度中に土砂災害の要綱を制定するよう事務処理を進めている。

今年度は佐賀、大方各2カ所の土砂災害の取り組みを進めている。

問 行政は地域住民の要望を踏まえ、どのような方策を考えているか。
また、認識している優先すべき防災箇所と今後の実行計画を伺う。

漁業振興 対話が必要では現状を把握し進める



現在の佐賀漁港

問 行政は漁業関係者の意思をよく知ることが大事だと考える。漁業者の悩みを聞くには対話が必要ではないか。

答 今西海洋森林課長 担当係が月2回以上の現地での目視点検等を行

者との対話等を行い全般の聞き取りを行っている。町管理漁港は、県漁協各支所長と地区委員より要望等を聞き取り、施設整備を進めている。

佐賀漁港全体の施設補強等も、平成21年度より

全体の機能保全計画を県が策定し、毎年実施している。

今後、積極的に現場に出向き、状況を把握して地元漁協関係者と率直に会話をを行つて漁港の整備事業を進めていきたい。

各支所長と地区委員より要望等を聞き取り、施設整備を進めている。

津波対策 高台移転の構想は条件が整えば推進

問 佐賀地区の高台移転構想を考えるべきではな

いか。

答 西村企画調整室長 課題解消に向けた条件

整備が整えば、その段階で計画的に推進していき

たい。



被災前の高台整備が望まれる（佐賀地区）

コロナ対策 ワクチン接種 安心な説明を
集団接種は 予約券で確認

答 佐田健康福祉課長 高齢者の集団接種は、

6月、7月の土、日曜日を中心にして接種出来るよう日程調整をした。

6月中には予約券が届

くので、その券にて日時、接種場所等の確認をお願しく知らせて安心させるべきではないか。

高齢者への集団接種が終了すれば、65歳未満の町民への接種を開始する。

各委員会が新しい体制で スタートしました!!

【◎委員長 ○副委員長】

産業建設厚生常任委員会



浅野修一 矢野昭三 宮地葉子 山本久夫 濱村美香
○中島一郎 ◎矢野依伸

総務教育常任委員会



小永正裕 吉尾昌樹 澳本哲也 池内弘道
○山崎正男 ◎宮川徳光

議会運営委員会



矢野依伸 山崎正男 宮地葉子 宮川徳光
○池内弘道 ◎中島一郎

議会広報常任委員会



吉尾昌樹 矢野依伸 宮川徳光 山本久夫
○濱村美香 ◎宮地葉子

ご紹介します！

津波被災後の迅速な活動をおこなうため、役場本庁舎西側に移転新築された「黒潮駐在所」と「入野分団屯所」をご紹介します。

●黒潮駐在所

この駐在所は、令和3年3月中旬に落成し、同4月に入野芝地区の駐在所が移転してきました。

両駐在員からは「地域との連携を大切に頑張りますので、よろしくお願ひします」とのことでした。

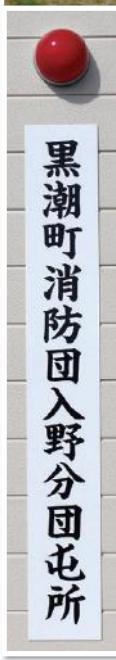
なお、受け持ち区域は入野地区以西の中山間地域、沿岸地域などの全地区です。



2棟建ての駐在所を
山側から写す



役場本庁舎西側に建設中の町営団地（中央部）の山側に黒潮駐在所、海側に消防屯所が新築



消防屯所を海側から写す。町道をはさんで右側には役場本庁舎が

入野本村地区にあった消防団
入野分団屯所が、黒潮駐在所と
同じ高台に移転され、6月20日
に落成式が行われました。

●入野分団屯所完成

学校めぐり

今回から町内の小・中学校を紹介していきます。

No.1 三浦小学校

めざす 児童像
知進んで学ぶ子
徳心豊かで、たくましい子
体地域が大好きな子



三浦小学校

児童数
36名

明治8年
出口小学校創立・伊屋分校併設
明治20年
田野浦小学校と合併
昭和22年
大方町立 三浦小学校と改称
平成18年
黒潮町立 三浦小学校となる

沿革

学校独自の催し

※コロナのため、出来なかつた行事もあります

○三浦の夏祭り

花火大会で最高に盛り上がる。

梅雨の合間に輝く紫陽花も見頃を終え、町のあちらこちらには、ひまわりの花が凜と咲いています。

○生華園との交流

地域にある生華園と5、6年生が田植え、稻刈りをしたもち米で餅つきをして交流しています。



○防災参観日

参観日、保護者も一緒に学びます。



○3世代交流行事

3世代で、凧作りや門松、しめ縄づくり、郷土料理づくりなどを教えてもらい、楽しい交流の場になっています。



「読みやすい広報」「住民の皆様に届く広報」を目指していきます。
広報についてのご意見もお聞かせ下さい。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していくますが、お互いを思いやり、「コロナにアタフタしない町づくり」のため、住民の方々の声を聴きながら、より良い広報づくりに努めていきたいと思います。

(濱村 美香)

編集後記

議会広報常任委員会
委員長 濱村 美香
副委員長 宮地 葉子
委員 矢野 依伸
山本 久夫
吉尾 昌樹
同 同 同
同 同 同
同 同 同

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893

■発行日 令和3年8月1日
TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)